

第4回（仮称）和光市公共施設マネジメント実行計画検討市民委員会会議

会議要旨

開催日	平成29年11月30日（木） 19時00分～20時00分
開催場所	和光市役所6階 602会議室
出席者	中川委員長、小倉委員、星谷委員、田中委員、長谷川委員
欠席者	なし
事務局	白川課長、岡田主幹、高野統括主査、森田統括主査、村山主任、酒井主任
次第	1.議題 （1）第1次和光市公共施設マネジメント実行計画（素案）について （2）本日の論点について （3）その他
傍聴者	2名

開会	
1 議題	
事務局	<p>●説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配布資料の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1～3は、事前に送付している。 ・ 資料4は本日配布した。 ○会議の公開について <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加条例第12条第4項に基づき、公開とし、傍聴席を設けている。 ・ 会議録は同条第6項の規定により公開する。会議録は発言者の氏名とその発言の要点を記載する要点記録の形式とする。 ・ 会議録の作成にあたっては、委員の皆様へ郵送又はメールで事務局が作成した原稿を送付し、確認後、修正等があれば事務局へ連絡をいただき校正したい。会議の録音については、会議録作成のために行い、会議録作成後に消去する。
<p>(1) 第1次和光市公共施設マネジメント実行計画（素案）について</p> <p>(2) 本日の論点について</p>	
事務局	<p>●説明【確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料1 本日の論点 ○資料2 年間スケジュール ○資料3 第1次和光市公共施設マネジメント実行計画（素案） ○資料4 第1次和光市公共施設マネジメント実行計画（素案）《概要》

	●質疑応答
中川委員長	論点1について、計画全般にかかる市民目線でのご意見、確認事項・質問をいただきたい。
小倉委員	前回委員会でP D C Aサイクルへの市民評価組織の組み込みを提案し、検討するとの回答をいただいたが、21～22頁には行政内のみのCheckになっている。このCheckに市民委員会などを加えることはできないか。
事務局	21頁の庁内推進体制の図で、Checkに市民も関わるという矢印をつけている。市民Checkの形式は、委員会、ワークショップなど施設・計画内容により異なり現段階で決めることができないため今後考えていきたい。また、現在想定しているCheck組織である推進委員会や検討委員会は、庁内で現状や客観データをまとめ、市民の方々の検討のたたき台をつくるという位置づけと考えている。
小倉委員	そのような意図であれば、22頁に(3)として、例えば「市民参加・情報公開の徹底」といった文章を追加してほしい。
事務局	この章は庁内の推進体制をお知らせしているものである。市民参加等の内容は8頁で示しており、市民による評価もこちらでやっていきたいと考えている。
小倉委員	庁内推進体制の中で、公共サービスを受ける側の市民の役割を記載することは問題ないのではないか。
中川委員長	市民評価の形式は、現段階で確定的にならないが、Checkの中で市民意見を取り入れることは可能と思われるため、事務局では21～22頁に市民参加等の文章を追記する方向で検討いただきたい。
長谷川委員	市民目線での計画全般に対する意見として、5点お話をさせていただく。 ①1頁の「将来人口推計」は、年齢区分が少し荒い印象である。年齢区分ごとの将来人口と各施設（保育施設、小学校等）の関係性を分かりやすくするためには、年少人口の区分を保育所に通う0～5歳、小学校に通う6～11歳などに細分した方が良い。 ②2頁の「地区別人口推移」は、11～12頁の小学校通学区域等との関係性が分からない。小学校通学区域等は、市民の生活実態に即した形で公共サービスを網羅すべきエリアを設定していると思うので、できれば「地区別人口推移」を小学校通学区域単位等で整理した方が分かりやすい。 ③18頁に「財源確保の手法」が示されているが、後半の「第1次実行計画の内容」はハード中心の記載になっている。「財源確保の手法」については、全庁的な取組と思うが、例えば、基金積み立てはどの程度必要か、光熱費を適正化するための取組などを具体的に記載すべきではないか。「財源確保の手法」については目的も含めてより詳しく記載していただければ分かりやすくなると思う。

	<p>④19頁の総量抑制の削減目標は、「施設更新費」をどの程度減らせるかを指標としている。施設更新費が何を対象としているかの定義を明記すべき。</p> <p>⑤24頁以降の「施設類型による実行計画」は、配置図がないと、どこで、どのような施設のマネジメントを実践するかが視覚的に入ってこない。例えば、25頁の防災倉庫は北エリアにしかないが、他エリアに整備しなくて良いかなども含めて検証できるように施設配置図が必要と思う。</p>
事務局	<p>①②の人口データについては、元データの加工の可否を確認した上で検討したい。元データが加工できない場合は、対比表の作成等の対応を検討する。</p> <p>③の「財源確保の手法」は、具体的に記載すると取組の制約になる可能性があり、例えば、学校と図書館では財源確保の手法が異なるため、現在の記載内容に止めている。</p> <p>④の「施設更新費」の定義は、和光市公共施設白書から記載する。</p> <p>⑤の「配置図」の追加については、再検討させていただく。</p>
長谷川委員	<p>「財源確保の手法」については、細かく記載するのではなく、「例えば・・・のような方法がある」程度の記載はできるのではないか。</p>
中川委員長	<p>基金をどの程度積み立てるなどの記載は難しいと思うが、市民が理解し難いものについては例示をしてほしいというリクエストと思う。</p>
事務局	<p>それについては、Topic という形で事例をだしてイメージしやすいようにしている。</p>
長谷川委員	<p>例えば、「ファシリティマネジメントの推進」は、箇条書きだけでは分かりにくい。「財源確保の手法」の項目ごとに、本文の説明を転記して再整理すれば良いのではないか。</p>
中川委員長	<p>18頁は、上に項目を設けて下で詳しく説明し、内容のダブリは再整理してください。</p> <p>論点2の「分かりにくい点」なども含めてご意見をお願いします。</p>
小倉委員	<p>5頁の「基金」は、現在どのような状況にあり、今後どのようにして増えていくのか。</p>
中川委員長	<p>「基金」は、公共施設整備基金のことで良いか。</p>
事務局	<p>そうである。自治体は単年度会計なので、大きな投資をするときに別の財布に積み立てることを「基金」といつている。欄外に基金の説明を加筆することを検討したい。</p>
小倉委員	<p>財政調整基金と公共施設整備基金は同じものか。</p>
事務局	<p>違うものであるが、ここで説明をすると財政の内容として膨大になるため、どのような説明が適切で、分かりやすいかを財政担当と詰めて記載したい。</p>

中川委員長	財政調整基金より公共施設整備基金の方が、本計画の関心事なんですね。
事務局	そうである。
星谷委員	素案について概ねは理解したが、少し難しい点もある。全般的に、もう少し分かりやすくなれないかと思う。
中川委員長	分かりやすさについては、私と事務局で作業していきたいと思うが、「特に分かりにくい点」はあるか。
星谷委員	先ほど話があった「財源確保の手法」が分かりにくかったが、本日の議論を踏まえて修正してもらえば良いだろう。
田中委員	事前にチェックしてきた部分は、長谷川委員にご指摘いただいた。
長谷川委員	23 ページの「施設更新にかかる取組の優先度」について、「優先度 3」についても説明があった方が良いのではないか。
中川委員長	優先度 1 と 2 の説明があつて優先度 3 の説明がないとバランスが悪いので、現在の (1) を柱書きにして考え方を示し、優先度 1 ～ 3 の説明を (1) ～ (3) でそれぞれ整理してはどうか。
事務局	説明書きの分け方をきちんと整理したい。
中川委員長	ひとつおとり、皆さんの意見をいただいたので、これをもとに「本委員会からの提言書」を作成したいと思う。 本日いただいたご意見に対する修正は、事務局と私に一任いただき、最終の修正版はメール等でご確認いただくことで宜しいか。
各委員	異議なし。
(3) その他	
事務局	<p><今後の流れについて></p> <p>本日の会議録を作成しますのでご確認の上、修正等がありましたら事務局へ連絡ください。修正後にホームページで公表する。</p> <p>また、「提言書」につきましては事務局でたたき台を作成し、その後皆様にご確認頂くという手順を踏みたいと考えている。</p> <p>「提言書」がまとまった段階で日程調整の上、市長に提出いただくので、委員長並びに都合のつく委員の皆様には出席願いたい。</p>
閉会	